

平成15年度

学校教育調査B報告書

岩手県立総合教育センター

はじめに

当総合教育センターでは、本県の学校教育に関する状況について、さまざまな立場の方の実態を定期的に把握することにより、県内の学校が抱える課題を知るうえでの基礎的な資料を得るために、また、今後の教育振興等に資するための基礎資料を得るために、本県の学校教育に関する状況について、基本的内容をA調査として3年ごとに、これを補完する具体的内容をB調査、C調査として実施しています。

平成14年度は、学校教育調査の初年度として、児童生徒の学校や家庭・地域での様子などにかかわる「学校教育調査A」を実施しました。

平成15年度は、前年度を受けて、児童生徒の学習面に焦点を当てて「学校教育調査B」を実施しました。調査では、県内12の教育事務所管内に設置されている24の小・中学校および12の県立高等学校のご協力を得て、児童生徒・保護者・学級担任を対象とし、延べ約4,000人の方から貴重な回答をいただくことができました。質問項目数は児童生徒用が32～33、保護者用が32、学級担任用が22です。本報告書はその結果をまとめたもので、校種・対象ごとに分けての「分析編」、回答データをまとめた「集計編」、調査用紙を掲載した「資料編」の三部構成で成り立っています。

調査結果は、文部科学省や国立教育政策研究所、市町村教育研究所や各種団体等で実施されている諸調査と併せて活用できるように、基本的な内容としました。県内の各学校をはじめ教育関係機関でぜひご活用いただき、本県の子どもたちの健やかな成長に役立つことができれば幸いです。

最後になりましたが、調査にご協力いただきました関係各位に、紙面を借りてお礼申し上げます。

平成16年3月

岩手県立総合教育センター